

神戸で学ぶ大震災の教訓と 耐震建築の最先端技術

アジア・中南米からの行政官と研究者7名が来日！神戸で①耐震建築分野の最先端研究、②阪神・淡路大震災の経験と教訓、③防災事業を推進する上での行政の役割を学びます。各国で防災に日夜取り組んでいる彼らの目にはどのように映るでしょうか。

日時：2018年7月6日（金） 9:30～17:00

▼場所①：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 Eーディフェンス 兵庫耐震工学研究センター（兵庫県三木市志染町三津田西亀屋1501-21）

9:30-11:30 講義「実大三次元震動破壊実験施設（実験設備、実験映像、屋外準備ヤード等）について」

▼場所②：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
（神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2）

12:30-15:00 見学「阪神・淡路大震災の教訓」

▼場所③：神戸市役所2号館（兵庫県神戸市中央区加納町6-5-1）

15:15-17:00 講義「特定行政庁の業務」

<研修員国籍（予定）> * 国名アルファベット順

ブータン、エルサルバドル、インド、ミャンマー、ネパール、フィリピン、ウズベキスタン
計7名

※ 取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

東京センター 経済基盤開発・環境課 亀井千裕

TEL 03-3485-7652 e-mail : Kamei.Chihiro@jica.go.jp

（電話受付時間：午前9時30分～午後5時45分）